

小矢部市立埴生公民館

◆事業の目的

花壇づくりや市内めぐりなどを通し身近な自然体験やふるさと学習を推進するとともに、地域の人たちとの交流を図りながらふるさとへの愛着や誇りの心を育てる。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月30日(土)	そば打ち体験と郷土料理	公民館調理室	21名
9月22日(土)	歩こう会「史跡めぐり」	埴生地区内	150名
11月10日(土)	花壇づくり「球根・花苗植え」	公民館前庭	24名
11月17日(土)	ふるさと再発見「市内探訪」	小矢部市内	30名

◆事業の様子

☆ そば打ち体験と郷土料理

地元産のそば粉を使い小麦粉とかき混ぜ、水を注いでこねる二・八そばの作り方を教えていただきました。そば生地の固さ加減に苦労しましたが、こしのきいたそばが出来上がった。

郷土料理「いとこ煮」にも挑戦しました。小豆に野菜などの食材がたっぷり入っており、薄味で美味しかった。



☆ 歩こう会「史跡めぐりウォークラリー」

晴天に恵まれ、地域住民約150名が参加。埴生公民館を出発し、埴生八幡宮～若宮古墳～石坂方面の約4kmコースで、道中はクイズを解きながら地元の史跡めぐりをしました。地元をもっと知ることができた。



☆ 花壇づくり「球根・花苗植え」

近隣の公民館と連携しながら一緒に花壇作業に取り組み、講師の手ほどきで秋植え球根（チューリップ赤と黄、クロッカス黄）及び花苗（ビオラ）の植え方を教わった。

また、花の輪を広げるため、自宅でも習ったように球根を土に埋め込み、来春が待ち遠しいとの声が聞かれた。



☆ ふるさと再発見「市内探検」

雨の中でしたが、りんご狩りは1人2個ずつ丁寧にみぎ取り、選果場で選別作業を体験しました。また、ハウス栽培のバラ園ではロックウールによる育成法に耳を傾けた。

市と文化交流しているイタリアの超天才レオナルド・ダ・ヴィンチの「発明」展示館に、途中、立ち寄った。最後は勾玉づくりの体験を行い、歴史のロマンに浸りました。自分たちのふるさとには、いろいろな産業や歴史があるのだと再認識した。



◆事業の成果と課題

郷土に伝わる料理、地域の史跡めぐり、身近な花壇作業などの実体験によって子ども達は多くの知恵を習得し、自然の恵みや親子のふれあいを深めることができた。

ふるさと再発見では、市内の自然、産業、歴史、文化なども学ぶ良い機会となった。地域に愛着をもたせるため、子ども達の興味、関心のある活動を取り入れていきたい。